

こんにちは 森林官です!

檜山森林管理署
木古内森林事務所
地域統括森林官
(木古内・吉堀担当区)
窪田 秀幸



寒中みそぎ祭

【写真提供：木古内町役場】

当森林事務所の所在地木古内町は、渡島半島南西部に位置しており、南部は津軽海峡に面し、北部の大半は森林地帯となっています。人口は約四千六百人、主な基幹産業は漁業・酪農などを中心とした一次産業で、これらを経済の柱としています。

◇◇◇

歴史が古く、文化財や伝統行事が多く残る町です。その中でも、佐女川(さめがわ)神社の「寒中みそぎ祭」は、一八三一年から続く伝統の神事として、全国でも知られている有名なお祭です。例年1月13日から15日にかけて行われ、一年の豊漁豊作を祈願します。

下帯一つの男たちが極寒の中、水を掛け合い清める姿は、見ている方も体が凍り付く思いです。

◇◇◇

町内の今年一番の話題は何といても「北海道新幹線」の開業です。開業日は3月26日。停車駅としての木古内駅は、町木に指定している道南スギをふんだんに使用した暖かみのある駅舎に建て替えられ、また、特産品



道南スギを使用した道の駅

のPRや販売、観光情報の発信基地として、道の駅「みそぎの郷(さと)きこない」が、道南の観光の拠点となるべく新たに建てられました。この建物にもふんだんに道南スギが使われています。北海道の夢・希望を運

ぶ新幹線「はやぶさ」は「やて」。私個人としても、是非近いうちに乗ってみたいと思っています。



北海道新幹線

【写真提供：木古内町役場】

◇◇◇

さて、当森林事務所は、木古内町と知内町にまたがる約11,000haの国有林を管轄しており、そのほとんどが、保安林に指定されています。

林地の現況は、道南の特徴であるブナを中心とした天然林が6割を占め、残りはスギ、トドマツ、カラマツの人工林となっています。人工林の多くが間伐・主伐期を迎えており、ここ3年間で、立木販売で約21,000

m³を契約、製品生産事業では約15,000m³の素材(丸太)を生産しました。

また、伐採により更新面積も増え、昨年はコンテナ苗も使用し、8haを植栽しました。

植栽後は適切な保育管理を行い、後世に残せる立派な森林に育てていきたいと思っています。



コンテナ苗も植えています

◇◇◇

終わりになりますが、民有林の方々との繋がりが、関わりを積極的に持ち、多様なニーズを把握する中で国有林の持つ技術等を提供し、民・国連携して地域に貢献できるように、努めていきたいと思っています。